

こども青少年局の業務紹介 （下記以外にも業務が有ります）

給食調理業務 （一時保護所）

一日の流れ（日勤の場合）



一時保護所では2歳から6歳の乳幼児や小中学生から高校生年齢の学童が生活しており、朝食・昼食・おやつ・夕食を提供しています（おやつは手作りででの作成も定期的に行っています）。アレルギーのある児童や病気で栄養価の配慮が必要な児童の食事など、個別に調理が必要な児童にも対応しています。それ以外にも、食育の啓発活動として、栄養士と連携した取り組みも行っています。

こどもたちから「おいしかった～」「また作ってね～」「魚苦手だったけどおいしかったから食べられるようになった！」など笑顔で話しかけてもらった時には、とても仕事にやりがいを感じています。また、一時保護所では3食、おやつなど児童の口に入るものすべてを私たちが提供しているので、入所児童を食事・栄養の面で支えるという重要な役割を担っていることにもやりがいを感じています。

仕事を行う上で、心がけ、工夫しているのは、乳幼児や高校生年齢まで年齢の幅広い入所児童に対して、それぞれに合わせた食べやすいサイズに食材を切ることや、みんなが食べやすい味付けになることです。また、児童は入所中、3食を一時保護所で食べるので、各種マニュアルに基づいた業務を徹底して、安心・安全を確保するとともに、常にこどもの目線に立った調理ができるよう意識しています。

そして、複数の職員で業務を行うので、チームワークと作業の確認を常に意識し、風通しの良い職場作りを心がけています。

※ 一時保護所の給食調理業務はシフト勤務です。

こども青少年局の業務紹介 （下記以外にも業務が有ります）

施設維持管理業務



一日の流れ

9:00	9:30	10:00	12:15	13:00	16:00	17:00	17:30
始業	ミーティング	資材準備後現場へ出動	昼休み	作業開始	現場引きあげ	報告書作成	終業



こども青少年局が所管する施設には保育所や幼稚園をはじめ多くの施設があり、安心・安全・快適に過ごせるよう、施設の安全性の確保や維持管理に努めています。突発的に発生する給水管漏水や窓ガラスの破損などについては、緊急修繕を行うなど即応性にも重点を置きながら、照明器具交換、扉の鍵や戸車の取り換えをはじめ、エアコン修繕・交換、ガス湯沸器修繕・交換、漏電調査・復旧など、いろいろな作業を幅広く行い、多くの施設を維持管理できるよう業務を行っています。

仕事にやりがいを感じる時は、施設の運営に支障がある状況を復旧・改善し、不具合が解決されたことによって皆さんに喜んでいただけることです。

仕事で心がけていることは、騒音や粉塵が発生することもあるため、作業の時間帯や工具の取り扱いについて施設長などの希望・要望をうかがいながら、安全第一に施設の活動に影響が出ないようにすることです。